

春の里より



つながりに感謝

おおの ひろし
大野 洋さん(33歳)

高校卒業後、いろいろな仕事を経験する中、自営業をやりたいという気持ちが湧き、農業をすることを決めました。以前勤めていた会社の知人から土地を借り、知人の先輩農家に栽培管理も教わりながら3年前に就農。知識・経験などゼロからのスタートでしたが、周囲のつながりに助けられ実現できたことを本当に感謝しています。現在は70㎡で多品目を栽培し、自分に合った作物を模索しています。春の里にはキャベツ・カボチャなどを出荷しています。

農業のやりがい、自分がやってきたことが作物となって見えることです。手を掛ければ良くなり、手を抜けば悪いものになる、成果が実感できるところが面白いですね。

新しい趣味にも挑戦したい

しおた すまこ
塩田 寿満子さん(76歳)

きれいな作物を作ることを心掛け、家族で米やキュウリなどを56年間栽培してきました。高齢になりハウス管理が難しくなったので、今年ハウス栽培の引退を決めました。元気なうちは米栽培を続けていきたいと思っていますが、将来的にはどなたかに田んぼを譲ることができればと思っています。

趣味は家庭菜園と手芸です。植物を育てることが好きで、家庭菜園でお花や柿・

森山より



パイナップル・ミカンなどを育てています。家の光を参考に、コースターなどいろいろなものを作ることも好きで、時間があればクロスステッチにも挑戦したいと考えています。

高知 地区から こんにちは

とさのさとより



我が家の財産は…

のせ ひとみ
能勢 瞳さん(65歳)

結婚後夫が脱サラして農業を始めたことで、やるしかない！と決心し約38年間、シシトウを栽培してきました。動けるうちに他の品目に挑戦したいという想いがあり、昨年モロッコインゲンやチンゲンサイ、赤ピーマンに切り替え、とさのさとや県内の直販所などに出荷し始めました。来作では、ニンジンや小ネギなどの作付けを家族3人で計画しています。農業で培った経験や天敵昆虫についての知識、ハウス設備や土は我が家の財産です。

旅行好きの夫のお陰で、出不精だった私も旅行が好きになりました。出先で「その場所では体験できないこと」を探して楽しむことが好きです。

関わる全ての方々が 幸せになるように

全日本ロータスクラブ
有限会社葛岡自動車商会
代表取締役 葛岡 睦雄さん(69歳)

県外の大学と整備学校を卒業後、2代目として父親の会社に入社しました。25年前の2月に社長に就任したのも束の間、平成10年の「高知豪雨」の土砂崩れで家と工場が全て流され、一時は会社をやめることも考えました。しかし、実家の倉庫で車検・点検・整備を始め、知人や友人、近所の方々の来店・応援を受け再起を決意しました。以来、仕事に関わる全ての方々が幸せになるようなサービスを「迅速・確実・典雅・安全」に提供し、人間性を高め続けることを理念に経営しています。

趣味は、作詞・作曲とバンド活動です。豪雨の時に奇跡的に助かったギターを相棒に、メンバーとオリジナル曲を練習し披露しています。

弘岡中より



ライブの様子。
いろいろな人に
「ボランティアソング」を
プレゼントしたい！

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



花を生ける参加者⑤と解説する濱田さん④

1 高知地区 県産花きで フラワーアレンジメント教室

高知県とJAグループ高知で構成する高知県園芸品販売拡大協議会は6月9日、県内の社会人を対象とした「社会人向けフラワーアレンジメント教室」をとさのさとアグリコレットで開催しました。幅広い世代に県産花きについて知ってもらおうとともに、花に触れる機会を創出することで需要拡大につなげます。

土佐市の金子生花店の濱田達也さんと高知市の生花店tomoni flowerの橋田智彰さんが講師を務め、茎の切り方や

葉物の活用方法などを説明。約20人が参加し、トルコギキョウやデルフィニウムなど、県産含む約10種の花きを使い、花の角度や向きなどを考え自由に生けました。

県農産物マーケティング戦略課の矢野雅さんは「高知の花に触れる機会を増やし、県産花きを知ってもらい、販売拡大につなげたい」と話しました。高知市から訪れた参加者は「県産の花を生けて楽しめた。会社の受付に飾りたい」と話しました。



濱田知事（左から4人目）と関係者ら

2 高知地区 四万十町産ショウガを 鍋つゆに 日本食研から新商品発売！

日本食研ホールディングス（株）は、生産量日本一の高知県四万十町産ショウガを使った新商品「清流四万十 生姜鍋つゆ」の全国販売に合わせ、県庁を訪れました。同社社員、四万十町職員、JA職員などの関係者が出席し、濱田省司知事へ商品を紹介しました。

商品は同町の生産者と開発。だし醤油味の鍋つゆで、おいしさだけでなく、規格外品を活用することによる廃棄ロスの削減

や同町の地域活性化などにも貢献しています。濱田知事は「つゆの味が控えめで、後からショウガの香りが強く香る。とてもおいしい」と話しました。

四万十生姜部会の田村皓哉部会長は「ショウガの消費量は年々減少しており、チューブなどの加工製品が主流となっている。この商品でショウガのおいしさを知ってもらい、消費拡大につなげたい」と話しました。

1袋当たり750g（3〜4人前）で、希望小売価格は305円（税別）。全国の青果売り場で発売予定です。

3 高知地区 親子あぐりスクール キュウリ収穫&サツマイモ定植体験



サツマイモを植える親子

JA高知県は6月1日、高知市春野町で第5期あぐりスクールの2回目を開きました。親子13組28人が、サツマイモの定植やキュウリの収穫を体験し、直販所を見学しました。キュウリは同町内のハウスで収穫。参加者は「新鮮でみずみずしくてびっくり。家でお母さんに料理してもらって、たくさん食べたい」と話しました。サツマイモの定植では、営農指導員がクイズを交えながら植え方を実演。親子で約200本のつるを植えました。

協力した農家の山中康平さんは「親子で土に触れる時間を過ごすことは大切。収穫を楽しんでもらえるよう、しっかりとほ場を管理していきたい」と話しました。

4 高知地区 露地ピーマン部会 現地検討会で意見交換



生育状態を確認し合う生産者ら

春野営農経済センター特産部会の露地ピーマン部会は6月6日、現地検討会を開きました。部員や職員、普及所が参加し、ほ場6カ所を視察。生育状態を確認し合い、ほ場の管理などについて意見を交わしました。

営農指導課の石井広晋さんは栽培のポイントや病害虫対策について呼び掛けたほか、農薬の安全使用や熱中症への注意についても共有しました。参加した生産者の安岡由紀さんは「病害虫なく、葉の色付きも良いほ場が多かった。異常気象や台風などにも備えるための準備をしていきたい」と話しました。

5 高知地区 新部員も参加 フレミズ部員が焼肉のタレ作り



調理するフレミズ部員

春野地区フレッシュミズ部会は6月21日、高知市で焼き肉のタレ作りを行いました。16人が参加し、甘口と中辛のタレを合わせて62ℓ作成しました。

同部会のタレは、リンゴやバナナなどを替りに使い、肉以外の料理にも幅広く活用できる万能調味料として長年愛され続けています。今年度入部し、初めて活動に参加した山田茜さんは「楽しく話しながらも、手先は止めずに順序よくときはぎと工程を進める部員の姿に驚いた」と話しました。近森陽子部会長は「新しい部員に、先輩部員が教え協力しあう活動ができていた。食に関わるこの活動は今後もずっと続きたい」と話しました。

6 高知地区 施策に実効性を JA高知中央会など通常総会



挨拶する久岡会長

JA高知中央会とJA高知信連、JA高知厚生連は6月28日、高知市で通常総会を開き、令和5年度事業報告などの議案を原案通り承認。任期満了に伴う役員改選では久岡隆会長が再任されました。久岡会長は「基本計画と関連法案の審議が始まる。食料安全保障の確保のためには、実効性のある政策が必要であり、特に適正な価格形成の実現に向けては速やかな法制化が求められる」と話しました。

昨年度中央会は、「代表・総会調整」「農政運動」「経営相談」など、求められる機能を発揮。JAが行う「不断の自己改革」の実践・進捗管理の支援・補完に県連などの関係機関と連携して取り組みました。

高知農業改良普及所より

台風被害などに備えましょう

今年も台風の季節がやってきました。
今回は農業用ハウスを中心とした、台風襲来時の対策のポイントについてお知らせします。

台風接近前までに行う事前対策

- 情報収集
 - ・最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックする。
- 周辺整備
 - ・ハウスの周辺はよく整理し、風に飛ばされやすいものは片付けておく。
 - ・燃料タンクやガスボンベなどをしっかり固定し、燃料コックは閉めておく。
 - ・ハウス周辺の排水対策をしっかりと行い、ハウスの谷樋、縦樋などのゴミは取り除いておく。
- 破損・倒壊対策
 - ・被覆資材のたるみや破れがないか確認する。
 - ・マイカ線のほつれや被覆材の止め金具のゆるみを確認する。
 - ・ハウスの周辺に防風ネットを張る(写真1)。
 - ・換気部(サイド部、谷部)、被覆資材の隙間などの風の吹き込み口となる箇所があればふさぐ。
 - ・斜材を設置するなど、風を強く受ける部分の補強を行う(写真2)。
 - ・ハウスの出入り口の補強(かんぬきなど)や戸締まりを行う。
 - ・換気扇のあるハウスは換気扇を回してフィルムを引きつけておく(吸入口は閉じておく)。



写真1 防風ネットの展張事例



写真2 斜材(筋交いパイプ)による補強事例

- 停電対策
 - ・タンクにかん水用の水を貯めておく。
 - ・自動換気(天窓、側窓)・遮光カーテンの手動開閉の操作器具や足場を準備しておく。
 - ・非常用発電機を養液栽培装置、環境制御装置に接続する(発電機を持っている場合)。

台風通過後の事後対策

- ・早急に施設を見回り、破損箇所があった場合補修する。
- ・窓の自動開閉装置の電源は元に戻し、換気を図り、施設内の高温を防止する。
- ・施設および施設周辺の排水を積極的に図る。
- ・作物への泥の跳ね上がりが多い場合は、動力噴霧機などで洗い流す。
- ・潮風を受けた場合には、台風通過後直ちに散水して茎葉に付着した塩分を洗い流す(温度や日射量が高くなると被害が大きくなる)。
- ・傷口より病原菌が侵入しやすいので、天候を見計らって薬剤散布を行う。
- ・作物によっては、即効性の窒素、加里を利用し、草勢の回復を図る。液肥の施用や葉面散布を行うのも効果がある。

台風の襲来直前になってあわてて対策を行おうとしてもなかなか対応できません。
施設は普段からメンテナンスを怠らないようにしましょう。

高知農業ネットにも
台風・強風対策の情報が
ありますのでご確認ください。

問い合わせ先：中央西農業振興センター高知農業改良普及所
(TEL.088-861-0711) (FAX.088-861-0660)

高知農業
ネットは
こちら



春野営農経済センターからのお知らせ

事務局 JA高知県春野営農経済センター 営農指導課 088-894-5660

暖房機のメンテナンスはお済ですか?

暖房機の経年劣化による暖房効率の低下や故障などのトラブル発生を最小限に抑えて長期間使用するためには、定期的な点検や清掃が欠かせません。定期的にメンテナンスを行うことにより暖房機の加温能力を最大限に引き出すとともに、省エネルギー対策に努めましょう。

省エネ対策へのチェックポイント

ポイント 1 暖房機の缶体清掃をしていますか?

A重油に含まれる不純物(硫黄や灰分)は燃焼後、缶体内部に堆積します。そのまま放置すると煙管が詰まり黒煙が出たり、不着火の原因になります。1年に1回は、必ず缶体の清掃を行いましょう。

熱効率とは? 省エネに大切なことは、熱効率を維持することです。熱効率とは、発生させた熱量のうち、何%をハウス内へ投入ができるか?という割合を示したもので、一般的に○○%という表記になります。ハウスカオンキ27V型の出荷時熱効率は約90%で、残りの約10%は排ガスとして煙突から放出されます。

掃除具セット 缶体すすき具、ワイヤブラシ、金柄ワイヤブラシ、煙管掃除具

ポイント 2 燃焼部(バーナー)をきれいにしていますか?

燃焼部(バーナー)の汚れにより燃焼状態が悪化すると燃費が悪くなったり缶体寿命が縮まる恐れがあります。ノズル周辺はノズルの交換(シーズン毎推奨)とともにシーズン前には清掃をおこない、汚れが落ちにくい場合は灯油や油汚れ用のクリーナーなどを使用しましょう。

ご不明な点がございましたら、春野農機センター(088-894-5290)までご相談ください。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

新農人の方、言葉が特に印象的です。応援します！

(春野町弘岡中 71歳)

▼6月号の「輝け！新農人」では、先輩農家や営農指導員に助けられながら農業に励む、香美地区のニラ農家さんを紹介しました。「生まれ変わっても、ニラ農家に」という言葉がとても印象的で、農業への誇りをひしひしと感じました。効率的な配送システムで安定出荷が可能になっていることに感心しました。

(高知市葛島 70歳)

▼特集1では、「物流危機を乗り越える 高知県独自の県域二元集出荷体制」として、JAグループ高知が「まとまりの力」を発揮する独自の出荷体制をお伝えしました。私たちはこれからも、スケールメリットを追求した出荷販売を続けていきます！

(高知市唐人町 49歳)

親戚が紹介されていてワクワクしました。これからも頑張ってください。

▼「高知地区からこんにちは」では、女性部や農家、料理人、囲碁クラブの方々を紹介しました。このコーナーに「知り合いが出ていた」と感想が届くのを毎月楽しみにしています。これからも、頑張る皆さんを紹介していきます！

(高知市伊勢崎町 72歳)

▼特集2では、火災はもちろん、自然災害や地震にも強い、JAの建物更生共済「むてきプラス」を紹介しました。今後心配される南海トラフ地震に備えて、「建物」「家財」の保障内容を確認しましょう。詳しいお問い合わせは、お近くの支所までお越し下さい。

(春野町弘岡中 69歳)

ロータスリリー、とてもきれい。一度、花束にしてみたい。

▼「Living with Flower」生産者を訪ねて」では、ロータスリリーを紹介しました。世界で唯一、れいほく地域でのみ栽培されている、希少なユリです。上品でゴージャスな八重咲きの花弁が映えるアレンジメントがとてもきれいでした。

(高知市十津 68歳)

うちの台所、ページ右下のQRコードを読み込んだらたくさん野菜レシピが載っていたので、良いサイトが見つかったと一人喜んでいました。

▼JA高知県のホームページのレシピサイトには高知県産野菜を使ったメニューがなんと470種類（令和6年6月時点）掲載されています。ぜひ献立の参考にしてください。



高知県の特産品や、生産者さんのお顔や取り組みを知れるので、この広報誌がとても好きです。次号も楽しみにしています。

(高知市曙町 24歳)

▼嬉しいご意見ありがとうございました。これからも皆さんに楽しんでもらえる広報誌作りを心掛けていくので、応援よろしくお願いします！

(お詫びと訂正)

6月号の内容の一部に誤りがありました。お詫びするとともに訂正させていただきます。

9ページ「高知地区業務用携帯電話に関するお知らせ」内の担当地区名

誤・南ヶ口
正・南ヶ丘

JA高知県 無料年金相談会 開催

開催日	令和6年8月24日（土）
時間	午前10時～午後3時
場所	JA高知県春野支所
住所	高知市春野町西分512-2
TEL	088-894-2203（担当：小川・八木）

こんなお悩みありませんか？

- 年金ってどこでどんな手続きをすればもらえるの？
- 自分はいくら年金がもらえるのだろう？
- 最近、年金の封筒が届いたけど、どうすればいいの？ など



ご来場をお待ちしております
～相談会で年金の疑問を解決しましょう～

- ★ 専門の社会保険労務士が、ご相談を無料でお受け致します。
- ★ 年金受給中の方、新規お受け取りの方、どのようなご相談もお受け致します。お気軽にご相談ください！

※ ご予約をお願い致します。ご予約の無い場合、多少お待ちいただくことがあります。